

主 題 名

差別をなくそう

教 材 名

人の世に熟あれ 人間に光あれ 〈2時間扱い〉

(参考資料:「ともだち」兵庫県教育委員会編を一部改編)
(狭山市教育委員会H8年発行「人権啓発・学習冊子 人権と共生」から引用)

人権学習の視点

個別的な視点「同和問題」

主題・教材について


この教材では、社会科で学んできた歴史的事実の理解を基礎にして、「水平社創立」の中心的人物の一人である西光万吉氏の歩みを追いながら、差別に対する怒りや憤りを持たせ、差別されていた人々の思いや行動に共感させたい。一方で、「生まれ」によって差別されるという同和問題の本質についても理解させ、差別の構造を捉えさせることにより、自分の問題として考えられるようにしたい。

ね ら い

水平社創立の学習を通して、基本的人権の尊重やその獲得に向けて被差別の立場におかれた人々の力強い立ち上がりを学ぶとともに、差別をなくしていくために、これからの自分自身の生き方について考えるようにする。

本時の展開

〈1/2時間目〉

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具		
導 入	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。	○社会科の学習での、明治前後の時代背景を振り返りながら、差別が残っていたことを捉えられるようにする。	 資料 「人の世に熟あれ 人間に光あれ」		
	きびしい差別を受けた一隆少年の思いを考えよう						
展 開	○教材文の前半部分(P.78～81)を読ませる。	一斉	○教材文の前半部分を読む。	○この話が、「水平社創立」の中心的役割を果たした西光万吉氏の話であることを知らせる。			
	一隆少年が次々と移り住まなければならなかった理由を考えよう						
	○主人公が小学校→京都→東京と移り住まなければならなかった理由を考えさせ、差別の厳しさについて理解させる。	一斉	○移り住む先々で周囲の人々がとった行動と主人公の気持ちを考え、発表し合う。	○本人の努力や能力に関係なく、差別が追いかけてくる理不尽さに気付かせる。			
開	「ふるさとが…。」と言って、とうとう病気になってしまった万吉の気持ちを考えよう						
	○心身共に疲れ果て、ふるさとに帰らざるを得なくなった理由を考えさせる。	一斉	○ふるさとに帰らざるを得なくなった理由を考え、発表し合う。	○主人公にとって大切な「ふるさと」が、差別の原因になる不合理さや、自分を応援してくれている人々も「ふるさと」がわかれば自分を差別するようになると思ってしまう主人公の心の苦しみに気付かせる。			
ま と め	○本時のまとめをする。	個別 一斉	○一隆少年の受けたきびしい差別に対して、思ったことをワークシートに書き、交流する。	○きびしい差別の中で生活していた人々の思いを感じ取らせる。 ○「生まれ」によって差別をされる同和問題の本質について知らせ、差別する側の問題であることを理解させる。	ワークシート①		



過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習を振り返らせる。 ○教材文の後半部分（P.82～83）を読ませる。 	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習を振り返る。 ○教材文の後半部分を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○差別との闘いに立ち上がるまでの人々の悩みや行動、勇気などを見つめ直させる。 	資料 「人の世に熟あれ 人間に光あれ」
展開	<div style="border: 1px solid #00AEEF; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 水平社創立のために立ち上がった人々の思いを考えよう </div> 				
	<ul style="list-style-type: none"> ○差別に対して立ち上がった人々の思いを理解させる。 	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ○万吉たちが水平社を創立した思いについて考え、発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行動を起こすことの難しさに気付かせるとともに、差別に負けてはならないこと、自分たちが立ち上がらなければ何も解決しないと決心した人々の思いを感じ取らせる。 ○「水平」に込めた差別されていた人々の思いをつかませる。 	
	<div style="border: 1px solid #00AEEF; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 水平社の創立大会に集まってきた人々の思いを考えよう </div>				
	<ul style="list-style-type: none"> ○水平社創立大会の様子を想像させ、同じ差別に苦しんでいる人々が大勢立ち上がったことを理解させる。 	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ○水平社の創立大会に集まってきた人々の思いを考え、発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の挿絵や「人権の窓②」などを利用して、その場の雰囲気を想像させる。 ○「人の世に熟あれ 人間に光あれ」の言葉の意味を考えさせる。 ○同じ差別に苦しんでいた人々が大勢いること、連帯感や自分自身の立ち上がりが大切であることに気付かせる。 	
まとめ	<div style="border: 1px solid #00AEEF; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 差別に出会ったとき、自分ならどうするだろう </div>				
	<ul style="list-style-type: none"> ○差別の構造を振り返らせ、自分にできることをしようとする気持ちをもたせる。 	個別 一斉	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめを受けている友達がいたとしたら、自分ならどうするか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人のもつ差別意識を見つめさせ、例として「いじめ」の問題を取り上げて、無関心（自分とは関係ない）では差別はなくならないこと、自分にできることを行動に移すことが大切であることをおさえる。 	ワークシート②
	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のまとめをする。 	個別 一斉	<ul style="list-style-type: none"> ○学習を振り返り、分かったことや思ったことをまとめ、交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○差別から逃げるのではなく、差別に向き合い闘ってきた人々の強い意志を感じ取らせ、自分の生き方を見つめさせる。 ○資料「水平社宣言の内容の子ども版」（P.84～85）を読み、まとめとしてもよい。 	資料 「水平社宣言の内容の子ども版」



評価

水平社創立の学習を通して、基本的人権の尊重やその獲得に向けての被差別の立場におかれた人々の力強い立ち上がりを学ぶとともに、差別をなくしていくために、これからの自分自身の生き方について考えることができたか。